

出会いが繋ぐもの

神奈川県

久里浜剣友会

中学1年 新井梨桜

「お互い県代表になって、全国大会で会おうね。」

これは、私が小学四年生だった時に剣友と交わした約束です。

剣道は、私が六才の時に会いました。

体験に行ってみた広島西風道場。

そこで、「一緒に剣道やろうよ！」と声をかけてくれた同級生のさくらという女の子がいました。私は声をかけてもらえたことが嬉しくて、ただそれだけで剣道を始めました。私はここで多くの仲間と出会い、練習を重ねるごとに徐々に勢いや速さが出せるようになりました。だんだん試合でも勝てるようになって、団体戦ではさくらとも同じチームで出られるようになりました。日々の稽古はとても厳しかったですが、私はこの仲間が大好きでこれからも一緒に剣道頑張ろう！とっていました。

しかし、小学四年生の終わりに、父が仕事の関係で神奈川へ転勤することになってしまいました。私は、父と一緒に神奈川に行くか仲間と一緒に広島に残るか悩みましたが、家族で神奈川へ行くことを選びました。剣道を通じて出会うことができた仲間と別れることはとても辛く、悲しかったです。自分で決断したこととはいえ、向こうでも頑張れるのか不安だった私はさくらと約束をしました。「お互い県代表になって、全国大会で会おうね。」離れ離れになったとしても、剣道頑張ろう！神奈川で県代表になって全国大会で必ず会おう！と心に誓って。

そして、私は神奈川に引っ越しました。

五年生の春、久里浜剣友会に入会しました。

そこで私は新たな仲間や先生方に会いました。しかし当分の間は広島の仲間を思う気持ちや、新しい環境に不安を感じていました。剣道のアルバムを見ては、懐かしくてホームシックに陥り、楽しかった記憶や思い出がよみがえり、本当にこの決断で正しかったのかと何度も思い返していました。久里浜剣友会のみんなは、途中から入ってきた私を快く受け入れてくれました。たくさんいる先生方は分け隔てなくご指導やアドバイスをしてくださいます。団体戦のメンバーにも選ばれ、しばらくすると大将やキャプテンも任されるようになりました。徐々に仲間とも打ち解けられ、改めて剣道の楽しさを実感しました。そんな私が久里浜剣友会で稽古する中で変わらなかったことは、県大会へ挑む思いです。さくらとの約束を果たすため一回一回の稽古を常に強い気持ちをもって熱心に取り組むことに心がけました。県代表になるために…

六年生になり、遂に全国をかけた神奈川県大会の日。

実際に全国を目指す選手の試合を見ていると、いつもの個人戦と違い不安と緊張が襲って私の身体をしぼります。

それでも今までひたすら目標に向けて取り組んだ自分を信じることで、気持ちだけは負けなように挑みました。共に稽古をしてくれた仲間の応援、先生方のご指導やアドバイス、保護者の皆さまからの温かいサポート、さくらと交わした約束への思いが私の勢いや力となり、神奈川県代表になるという目標を果たすことができました。

さくらも広島県代表となり、愛媛県で行われた全国大会での再会が実現しました。

共に競い合い助け合ってきた、かけがえのない多くの仲間がいたからこそその結果だったと思います。この経験を踏まえ、私は今まで出会えた仲間、そしてこの先まだ見ぬ仲間との出会いを大切にしていきたいと思いました。

最後に、さくらと交わした約束は私にとって自分を強くしてくれた一番のきっかけだったと思っています。どんなことにも逃げずに立ち向かう強さを教えてくれて、ありがとう。これから先、何度も壁にぶつかることがあると思いますが、目標をあきらめない気持ちを私に教えてくれたこの経験は一生の宝物です。